



CONTENTS

インフォメーション 2

第6回「よしきフォトコンテスト」
カメラを持って出かけよう! 3

【トピックス】
肥中街道の整備と
広域連携によるまちづくり 4

【シリーズ歴史⑥】

吉敷毛利と玄済寺と大内義興と 4

レポート 5

【吉敷の福祉・健康】

地域へのサービス活動を開始
します 6

みんなで防災 6

健康レシピ 7

リレーエッセイ 7

イベントカレンダー 8

かけはし 8

よしき人



トキメキ

行事等につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点などから中止または延期となる場合がありますので、予めご了承ください。



12月1日から全国一斉に始まる

「歳末たすけあい募金」

毎年、多くの御協力をいただき、ありがとうございます。

この募金は、年末始にかけて支援が必要な方や、交流行事への支援を通じて地域のつながり・支え合いに使われています。

今年も皆様のあたたかい御協力をお願いします。

アクティブシニア

生活体力チェック in 吉敷

百歳体操の体験や最新の体組成計、野菜摂取充足度測定（ペジチェック）もできます。申し込み不要で料金も無料です。

申込 不要

問い合わせ 口市渾南地域包括支援センター
☎ 083-934-3333

子ども祭りと焼き

一年の無病息災を祈願する毎年恒例のどんど焼きです。

とき 1月9日(月・祝)
場所 良城小学校グラウンド
② 良城小学校ピロティ
※小雨決行（雨天中止）
申込 不要

（受付時間）
とき 1月11日(水) 13時30分～14時30分
場所 地域交流センター 和室
申込 不要

準備 母子健康新手帳
問い合わせ 市子育て保健課
☎ 083-921-7085

青児相談

お子様の身体測定や、育児・離乳食に関することなど、保健師と栄養士が相談をお受けします。お友達づくりを兼ねて気軽に越してください。

「ヤングケアラー」を
からのお知らせ
知っていますか？

本来大人が担うような家事や家族の世話を日常的に行っている子どものことです。責任や負担の重さにより、学校生活や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。また、心や体に不調を感じるほど重い負担がかかっている場合には、注意が必要です。

超高齢化社会へ進む中、「ヤングケアラー」の増加も指摘されており、社会全体でサポートしていく姿勢が求められています。

「樂樂樂」からのお知らせ

吉敷の広場「樂樂樂」（ららら）は、小さいお子様とその保護者が気軽に遊びに来てもらえる広場ですが、毎月2回、どなたでも来ていただける「誰でもどうぞの日」を開けています。

この近所の方や普段は小さい子どもと関わる事のない方にも「樂樂樂」を知つてもらい、地域の方々の交流の場つどいの広場になつたらいいなと思つています。

ぜひ遊びに来てみてください。

とき 每月第3土曜 9時30分～12時

場所 吉敷佐畠5-7-13（良城小学校裏）

問い合わせ つむじの広場「樂樂樂」

毎週月・火・木曜 10時～15時

申込 不要

主催 母子保健推進員
問い合わせ 地域交流センター
☎ 083-922-33915

渾南地域包括支援センタ

*子どもの人権110番
(0120)007-110



介護でお困りの時は、包括支援センターへお気軽にして相談ください。

*山口市渾南地域包括支援センター
☎ 083-928-0035 (開館日：毎週月・火・木曜 10時～15時)

第6回「よしきフォトコンテスト」 カメラを持って出かけよう!

よしきフォトコンテスト実行委員会では、引き続き、第6回フォトコンテストを開催しています。フォトコンテストのテーマは、「みんなで支え合う 笑顔あふれるふれあいのまち 吉敷」です。

吉敷には交流の場がたくさん美しい自然にも恵まれています

吉敷地域では、年間を通してお祭りやイベントが開催されるなど、交流の機会がたくさんあります。

また、地域の北部には東鳳凰山や西鳳凰山があり、中心部には桜やホタルの名所である吉敷川が流れるなど、自然豊かな地域です。

吉敷でふれあい、交流する人々美しい風景の写真を大募集

吉敷の魅力満載の写真を募集します。募集作品は次のとおりです。

●吉敷でふれあう人々の写真

●吉敷で開催されるイベント等で交流する人々の写真

●四季折々に姿を変える吉敷の美しい風景

もうと広めたい吉敷の魅力 新たな交流のきっかけへ

写真を自分で撮ることで、吉敷の良さを改めて実感したり、誰かが撮った写真を見ることで、新たな発見があるかもしれません。

フォトコンテストをきっかけに、より多くの方がイベントや行事に参加して、ふれあいや交流を深め、吉敷の魅力をもっと知つてもらえることを期待しています。

各賞を準備して多くの作品をお待ちしています

入賞作品は、イベント会場や地域交流センターなどで展示し、地域の皆さんにお知らせします。第5回は18点の応募がありました。どなたでも応募できますので、多くの応募をお待ちしています。

フォトコンオンラインで 気軽に応募できますよ！

スマートフォンで撮影した写真を気軽に応募できるように、フォトコンラインを開設しています。

「撮ったらラインで送る！」やってみませんか。皆さんたくさん応募してくださいねー

忘れないでね!
・写真タイトル
・撮影場所
・撮影月
・氏名
・連絡先

<https://www.yoshikibito.com/>
吉敷フォトコンライン
※応募に関する詳細は、応募チラシやウェブサイトで確認いただけます。

地域住民の声を形に

受賞作品のリーフレット作成

フォトコンテストは、良城商工振興会の全面的な協力をいただいて実施しています。

第3回以降、商工振興会や実行委員、地域住民の意見を元にフォトコンテストを広く知つてもらうためのリーフレットを作成しています。全戸配付し、好評を得ました。



募集期間
・令和5年11月13日(月)まで

応募規定
・どなたでも応募できます。
・カラープリント・判で縦横自由。
・撮影場所が吉敷で、自作・未発表のもの。2021年12月から2023年11月までの間に撮影した写真に限る。

・意図的に合成・加筆・削除した写真や組み写真・台紙貼り等の写真是不可。

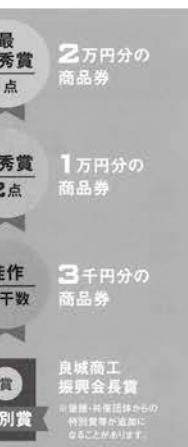
・応募は一人12作品までとし、作品は返却しません。
・応募票（コピー可）に、必要事項を記入し、作品の裏面に貼り付けて郵送または持参してください。応募票は実行委員会に設置しています。
・Eメールの場合は、応募票をウェブサイトからダウンロードし、必要事項を入力のうえ、作品データと応募票を送付してください。
※肖像権の侵害が生じないよう、応募者の責任で確認してください。

応募方法

・応募票（コピー可）に、必要事項を記入し、作品の裏面に貼り付けて郵送または持参してください。応募票は実行委員会に設置しています。

・Eメールの場合は、応募票をウェブサイトからダウンロードし、必要事項を入力のうえ、作品データと応募票を送付してください。
※肖像権の侵害が生じないよう、応募者の責任で確認してください。

・発表
・2023年12月
よしきフォトコンテスト実行委員会
山口市吉敷佐畠一丁目4番1号
083-922-3344
yoshiki-photocon@bz03.plata.or.jp



肥中街道の整備と 広域連携によるまちづくり

肥中街道は、大内氏の海外貿易のルートの一つであった道場門前の安部橋から赤田神社や周防国と長門国の国境である吉敷畠の大峠を経て、肥中港に至る約十六里の街道です。

道標となる石柱の設置

吉敷では、この街道を吉敷における歴史の道として整備し、令和2年度に管内の十六カ所に道標となる石柱を設置しています。

また、沿線上にある他地域の文化団体においても街道の整備が進められていることから、こうした団体との広域連携によるまちづくりを進めることにしています。

肥中街道の講演会の開催

講師は、中世の日本海航路の研究を行っている益田市歴史文化研究センターの中司健一氏にお願いし、「肥中港と肥中街道」と題して、中世において肥中港が重視された背景や肥中港の位置づけなどについて講演をしていました。



他団体との連携方策の協議

講演会の終了後、地域交流センターの会議室において、講演会に参加した他地域の文化団体と、通行できる区間とできない区間の調査や連絡協議会の設置の検討など、今後の連携方策について協議を行いました。

一里塚の設置の検討

江戸時代の享保の吉木村繪図に、吉敷に肥中街道の一里塚があったことが示されており、文化振興協議会では、その復元を検討することとしています。

またこのため、今年の12月4日(日)に開催するバッスターのコースに、赤岡関街道と萩往還に現存している一里塚の複数も組込んでいます。

毛利関連の寺院に何故大内関連のものが存在するのか謎だったが、調査した結果、両者には血縁血族の関係にあることが判明した。

吉敷毛利家の始祖は毛利元就末子、久留米藩13万石大名、毛利秀包(一時、小早川隆景への養子入りもあり、小早川秀包とも称した)。その夫人は豊後(大分)大友家²¹代当主大友義鎮(宗麟)の娘引地の君。大友義鎮の父は大友家20代当主大友義鑑で、夫人は、大内義興の娘である。

時系列に換言すれば、大内義興の娘と大友義鑑。大友義鎮の娘と毛利秀包。そして、それは2代元鎮から9代房直まで、その血縁の持続が見られている。ただ、10代包詮、11代房裕は独身で夫人を迎えてないので、その血筋は途絶えています。



吉敷毛利と玄済寺と

吉敷毛利家菩提寺の玄済寺には、

大内家15代当主(30代説もある)

大内義興の靈牌と、念持仏(日頃身近に置いて仏仰する仏)の、平

安時代作、吉祥天像、毘沙門天像。

鎌倉時代作、毘沙門天像二体。室

町時代作、釈迦如来坐像が鎮座し

ている。

毛利関連の寺院に何故大内関連

のものが存在するのか謎だったが、

調査した結果、両者には血縁血族の関係にあることが判明した。

吉敷毛利家の始祖は毛利元就末

子、久留米藩13万石大名、毛利秀

包(一時、小早川隆景への養子入

りもあり、小早川秀包とも称した)。

その夫人は豊後(大分)大友家²¹

代当主大友義鎮(宗麟)の娘引地

の君。大友義鎮の父は大友家20代

当主大友義鑑で、夫人は、大内義

興の娘である。

そもそも我が國は島国で外圧がなかつたので、古来より世襲(血族含め)により國や家の安定を保っていた。吉敷毛利家においても、歴史の流れとはいえ、盛者必衰の理を表し、虚脱感を覚えてならない。

代正男の、令和4年2月25日逝去をもって断絶されることとなつた。代正男と統いていた。

元房謙、13代元潔、14代親直、15代忠三の相続を経て、18代忠男、19

代正男と統いていた。

房謙、13代元潔、14代親直、15代

忠三の相続を経て、18代忠男、19



玄済寺 藏重恵昭

玄済寺

レポート

事故から学び教訓に

10月13日(木)、山口警察署交通課による「交通事故発生現場における現場講習会」が行われました。地元住民等が参加し、8月に起きた交通事故について、実際の事故現場で事故時の状況や対策について説明を受けました。



若い世代も参加

吉敷まちづくり計画座談会

来年度からの次期吉敷まちづくり計画の改定に向けて、10月に5回に分けて住民と地域活動団体による座談会を開催しました。

今回は、若い世代の方も多数参加され幅広く意見交換が行われました。



第47回吉敷ふるさとまつり

11月13日(日)、「吉敷ふるさとまつり」を開催しました。

今回の祭りではトラックステージを設置するなど、3年ぶりに屋外でのイベントを実施し、吉敷の新しいかたちの祭りとなりました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、前日の準備から地域の皆さんと一緒に盛り上がったお祭りになりました。



トラックによる屋外ステージイベント

屋外でのステージイベントでは、鴻南中学校吹奏楽部、ダンスチーム、吉敷太

極楽健康づくり教室、みらうき物、田中&石田、良城クラブ、吉敷郷土太鼓保存会ジュニア部の皆さん、歌やダンスなど田頃の成果を發揮し会場を大いに盛り上げてくれました。

ミニバト展示や水消火器訓練の体験も子どもに大人気でした。



社会福祉功労者等の表彰状・感謝状贈呈式が行われました

10月7日(金)、市社会福祉協議会において、社会福祉分野で功績のあった方々を表彰し、敬意と感謝の意を表すために表彰状・感謝状の贈呈式が行われました。

吉敷で受賞された方は、次の皆さんです。

社会福祉事業功労者

林 隆一 氏

秋本 邦彦 氏

（監委員） 福田 直樹 氏

小田 孝子 氏

原田 美知子 氏

有吉 秀雄 氏

社会福祉事業功労者（福祉員）

林 隆一 氏

・民間社会福祉施設従事功労者

金子 篤史 氏

・ボランティア功労者

奥原 孝子 氏

・有償在宅福祉サービス協力会員功労者

福永 信子 氏

・サービス協力会員感謝状

横尾 宏志 氏

みんな待っていた楽しい出店、



皆さんおめでとうございました。
地域のためにいつもありがとうございます。
これからもよろしくお願ひします。

「地域へのサービス活動を開始します」

よしき悠久苑では、これまで社会福祉法人として、日常生活・社会生活上の支援が必要な方に対する「無料・低額な料金」で提供する福祉サービスに努めてきました。

当施設では、今年度よりこのサービスを地域の方々に広く提供したいと考えています。

「ともに支え合い 心豊かに暮らせるまち」のため、地域の方からのニーズをお聞きして、お役に立てたらと思います。

気軽になんでも相談を(相談例)

- 専門職の機能訓練(体操指導)をして欲しい。
- 独居で近所付き合いがなく不安。
- ゴミ出しができなくなってきた。
- 今後、介護になったらどうすればいいのか。
- 同居家族の今後が不安。

- 福祉サービスを使うとお金の事で生活に不安。
- 孫の事が気にかかる等の、心の不安を気軽に相談できる場所が欲しい。

出会いの場づくりを

施設の広い敷地を利用して、子どもたちが気兼ねなく散歩や遊びができる場所を提供し、また、小さなイベント、フリーマーケット、カフェの開催等により、出会いの場を提供し仲間づくりを促進します。

災害時の支援活動を

- 避難場所の提供
- 要援護者の搬送

相談窓口 社会福祉法人祐寿会

本部部長 藤本さつえ 本部次長 藤野紀子
〒753-0816 山口市吉敷佐畠四丁目8番1号
携帯電話① 090-8361-1552
携帯電話② 080-6264-2542

吉敷地区防災会では自治会と連携し学習会を開催しております。
学習会開催希望の地区があります
したらお声かけください。



①蓄える
普段の食料品を少し多めに買い起き(保存期間の長いもの)
各家庭で必要な保存食の種類や量を決め、一度に買うではなく、消費期限がずれるように少しずつ買い足していくと安心です。



ローリングストックとは、災害時に備えて普段から食材や加工品を少し多めに買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法を言います。

「ローリングストック」を意識しよう
心がけよう
①蓄える
②食べる
③補充する

月に一～二回を目安に、保存食を食事に取り入れましょう。消費期限切れを防ぐため、古いものから順番に食べるのがポイントです。
②食べる
食べた分を早めに買い足し、①で決めた保存しておく量を確保しましょう。
③補充する
消費した分を補充



③補充する
消費した分を補充

②食べる
チェックリストを作成し、賞味期限を考えながら消費



吉敷地区食生活改善推進員監修

健康レシピ。

「炊飯器でスイッチオン! かんたんポトフ」

野菜たっぷりダイエットにおすすめレシピ
冷蔵庫の残り野菜で冷蔵庫も体もスッキリ!



材料

[2人分]

- ウインナー 2本
- じゃがいも 1個
- にんじん 1/4本
- たまねぎ 1/4個
- キャベツ 1/16玉
- しめじ 1/4袋
- コンソメ(粉状にする) 1/4個
- 塩 少々
- 水 50ml
- ブラックペッパー 少々

作り方

- ① 野菜はすべて大きめに切る。
しめじは石づきを落としてほぐしておく。
- ② 炊飯器の内釜に、にんじん、玉ねぎ、しめじ、ジャガイモ、キャベツ、ウインナーの順に重ね、コンソメと塩をふりかけて水を入れる。
- ③ 炊飯器の蓋をして、炊飯(早炊でOK)
- ④ 炊飯が終わったらざっくりまぜ、ブラックペッパーで味をととのえる。

1人分:エネルギー256kcal 蛋白質9.4g 脂質12.9g
食塩相当量1.4g

リレー エッセイ

031



さいとう
齊藤 昭司さん(上東)

「齊藤さん、中尾の友人から問合せがあったが、手伝い隊にお願いするにはどういう手順を踏めばいいのですか?」上東のAさんからの電話である。中尾地区は家と家との間に距離があり、ゴミステーションまでかなり時間を要する。高齢の方が手伝い隊に依頼したいらしい。「ふるさとだよりよしき」で情報を得たとのことだ。

ゴミ処分だけでなくスーパー・病院・バスやコマタク停留所までの送迎も希望している様子である。上東は交通の便は良い方だが、それでも送迎の利用はかなりある。中尾や畠地区ではそれ以上の要望があるのは間違いないと思うし、今後高齢化は着実に進む。

Aさんに「すみません、この手伝い隊は上東地区のみで運用し外部には出ません。申し訳ありませんが中尾までは行けません」と返事をした。折角の要望に応

えられず意気消沈。

私は「上東手伝い隊」オープン当時からこの企画を吉敷全体に拡げたいと思っていた。

あれから3年、ゴミ処分・草刈・買物や病院の送迎等をコツコツと15人の仲間で高齢者のお手伝いをやり、すっかり定着した感がある。しかし、当初思い描いていた吉敷全体の拡がりはこれまでなかった。

そんな折のこの9月、佐畠の自治会長さんから「佐畠も手伝い隊をやってみたい。これ迄の経験、実績を参考にアドバイスして欲しい」との連絡が入った。もちろん全面協力である。是非とも立ち上げて欲しいと思う。

私は福祉員をして6年になるが、いつも感じるのは見守り・訪問がスムーズに出来ないということである。それは何故か?心のふれあいが少ないとと思う。

その意味で、この手伝い隊がふれあいを生みだし、それを更に深めることが必至です、それはこの3年間の経験で保証します。

手伝い隊の出会いから老人クラブに入会、更にサロン、スポーツの仲間へと…。



よしき イベントカレンダー 12月

P.O 高級ページ

夢舞台音楽祭「ぶっくん」
15:10~15:60

青バト・高田日

1 木	町内会長会 18:30~
2 金	親子クリスマス会 ①9:30~10:30 ②11:00~12:00
3 土	
4 日	赤岡関街道と萩往還周防・長門の国旧街道散策バスツアー 9:00~
5 月	あいさつの日
6 火	
7 水	地域づくり協議会運営委員会・計画策定委員会 18:30~
8 木	
9 金	
10 土	
11 日	
12 月	吉敷ペタンク同好会練習 9:00~ 広報委員会 17:00~
13 火	
14 水	
15 木	
16 金	
17 土	楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30~12:00 (P.2)
18 日	
19 月	アクティブシニア生活体力チェックIN吉敷 9:30~12:00 (P.2)

20 火	
21 水	
22 木	
23 金	
24 土	
25 日	消防団年末夜警
26 月	YKB会(吉敷交流勉強会) 楽楽楽「誰でもどうぞの日」 10:00~15:00 (P.2) 消防団年末夜警
27 火	YKB会(吉敷交流勉強会)
28 水	
29 木	
30 金	
31 土	

1月のおもなイベント

- 7 土 子育て講座「絵本を楽しもう」 (P.2)
- 8 日 二十歳のつどい
市消防出初式
- 9 祝 子ども金どんど焼き (P.2)
- 11 水 育児相談 13:30~14:30(受付時間) (P.2)
- 15 日 市駅伝競走大会
- 16 月 あいさつの日
- 22 日 地区社協講演会

皆さんはいつも通る道をどのように見ていますか？

通勤・通学・買い物等、車や自転車で動くことが多いと思います。これつてどちらかといえば、広い道ですよね。私もカーナビゲーションの修理をしていました。最初は画面の中に線が1本、今は詳しい地図が出てくるまで進化しました。だけど道って、それだけではありませんよね。昔からある細い道だけではなく、細い道も、逃げる道であり、命を守る道なのです。大事になります。普段は何も感じない道、本当は1番大事、それが生活の一一部であります。でも何か災害等が起これば、広い道、今は住宅等で分からなくなっています。でも何か災害等が起これば、広い道だけではなく、細い道も、逃げる道の筋がわからなくなるのも時代の流れなのかも。道はどこにでもつながっています。りたくない。でも、浦島太郎（吉敷太郎）にはなりたくない。



[発行・編集]

吉敷地区広報委員会 (〒753-0816 山口市吉敷佐畠一丁目4番1号)
☎ 083-922-3915 吉敷地区交流センター(地域担当)
☎ 083-922-0668 吉敷地区交流センター(行政窓口担当)
☎ 083-922-3344 地域づくり協議会・吉敷自治会・地区社協

吉敷地区地域づくり協議会ウェブサイト・フェイスブック
<https://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索

